

大阪



リニア通信

リニア市民ネット・大阪

NO.2 2016.4月

山梨で市民集会（2月28日）

山梨県中央市で住民やリニア住民運動団体の関係者らが約200名参加して、熱気の溢れた集会となりました。

ほんとに夢の超特急？

問題点がいっぱいのリニア、今回はリニアが使う電力の問題を解説します。

消費エネルギーはジェット機のみ？

リニアの電力問題

川村晃生氏、和泉貴士弁護士はストップリニア訴訟に至る経過と論点を紹介。活動報告は山梨県中央市の立ち木トラスト運動、甲府市市議、中間駅の相模原や飯田や中津川から発言がありました。「巨大なモンスターが動き始めた。リニアは魔性」と話されたことが印象に残りました。地域住民はリニアの賛否を問われるのと重荷になる。リニアを止めるには大阪や東京の都市圏の利用者の「リニアは要らない」という声が必要です。（春日）



さよなら原発集会にブース参加

3月13日、さよなら原発関西アクションのブレ企画として行われた、大阪市中央公会堂前水上ステージでのコンサート会場にブース出展しました。

先立つ10日には再稼働した高浜原発が運転差し止めの仮処分を受けて停止、そのせいか会場には心もちはつとしたような空気が流れていきました。多彩なミュージシャンの演奏を楽しみながら訪れた方々と交流の時を持つことが出来ました。また、現在基地工事が中断されている沖縄・辺野古から座り込みリーダーの山城博治さんがステージに飛び入り参加、力強いアピールに会場が沸き大きく盛り上がりました。私たちも、莫大な電力を消費し、再稼働の口実とされかねないリニアをストップさせるためにがんばっていました。（K）

3月13日、さよなら原発関西アクションのブレ企画として行われた、大阪市中央公会堂前水上ステージでのコンサート会場にブース出展しました。

“輸送エネルギー性能（1人の人を1キロ移動させるのに必要なエネルギーの値）”の比較では、リニアに必要なエネルギーは在来新幹線の約3・7倍。発電所から送電線を経て供給されるまでに失われるエネルギーなどを加算すると、なんと大型旅客のジェット機と同じくらいの消費エネルギーになるという試算も。南アルプスの自然を壊し、大量的電力を消費するリニアは、将来世代の人たちに重い荷物を背負わせることになります。（U）

もいわれます。

アセス調査は事業の実施を前提として行います。開発計画に支障のない調査報告になります。リニア新幹線のアセスは僅か3年でまとめた杜撰なものです。

環境アセスは調査の結果次第で、計画の変更や中止も可能になり、大規模な環境破壊や住民の健康被害を未然に防ぐ事に成ります。

アセス調査は事業の実施を前提として行います。開発計画に支障のない調査報告になります。リニア新幹線のアセスは僅か3年でまとめた杜撰なものです。環境保護団体や自然研究家は皮肉を込めて「環境アワスメント」と酷評しています。

アセス、環境アセス

道路や鉄道や港湾など、大規模開発計画の段階で、環境にどの様な影響が起るのか、事前に調査し、事業計画の診断と判断を行います。これ

を環境影響評価、環境アセスメント、事業略して環境アセスと言います。環境影響評価の一連の手続きを国の法律で定めています。環境影響評価法と

そのことば、どういう意味？



ホームページ
<http://linear-shimin-net-oosaka.jimdo.com>

-----連絡先-----
リニア市民ネット・大阪
(代表) 春日直樹
090-5640-0396
naoki.kasuga.46
@ceres.ocn.ne.jp